

ハートがよろこぶ アートのちから [なはーと]

NAHART

なはーと開館！

2021年10月31日



「特集」なはーと大解剖

7つの魅力

「なはーと」は感動を共有する文化芸術の発信拠点

新たな
芸術作品が生まれる

創造
発信拠点

県外・海外から招へいする鑑賞公演だけでなく、アーティストや市民とともに、新たな作品の創造活動に積極的に取り組むことを目指している「なはーと」。アートを生み出すことは、人と人との交流や、地域の賑わいづくりにつながります。沖縄ならではの文化芸術は、ここから発信！



那覇市市制100周年にあたる記念の年、令和3年10月31日に「那覇文化芸術劇場 なはーと」がオープンしました。沖縄を代表する舞台芸術の拠点になることはもちろん、次世代の育成の場としてや、地域の人たちが日常的に訪れるなど、いつも賑わいあふれる施設を目指しています。

なはーとの名称は、約1000点の市民応募作品の中から決定。那覇（ナハ）心（ハート）芸術（アート）3つの言葉からなり文化芸術の発信拠点として、多くの人たちに親しまれ、文化芸術が発展するようにとの願いが込められています。

そして、なはーとの特徴は、誰もが気軽に施設を訪れられるように、多様なプログラムが催されるこ

と。舞台作品の鑑賞だけでなく、創作に携わることや、ワークショップに参加することが出来ます。また無料でたのしめるロビーコンサートや、展示の開催等も予定しています。なはーとは市民の文化活動もサポート。さまざまなジャンルの表現活動に対応できる練習室やスタジオは、どなたでも利用することが出来ます。

この様に、なはーとにはたくさんの魅力がありますが、その中でもとっておきの7つを紹介します。なはーとの魅力を知れば、きっと行ってみたいくなるはず。新しい那覇市のランドマークにぜひご期待ください。

2 まる見えなのが
面白い 練習室



道路やロビーに面した部分はガラス張りになっていて、中が丸見えの練習室。真剣に練習している姿を見たら、きっと本番が見たくなるはずです。また、練習室の中には人々には適度な緊張感が味わえるかも。どうしても見られたい場合は、カーテンを引くことができるので、ご心配なく。

3 海の中を
イメージした
大劇場

さまざまな分野の舞台芸術作品の上演に対応可能な基本性能を備えた大劇場。客席は3階まであり、全部で約1600席です。内装は海の中をイメージしたカラーで、落ち着いた雰囲気。天井のデザインは海底から見た海面のゆらめきを表現しています。バルコニー席も特徴的で、どこから鑑賞するのが良いか、お気に入りの席を探すのも楽しそう。



首里城の
軒先を
イメージした
小劇場

可動式の客席により、さまざまなスタイルで利用できる機能を持つ約260席の空間です。王族の高貴な着物をイメージした黄色の客席には、織物のようなデザインが施されています。演劇公演やダンス公演のほか、音響反射板もついているので、室内楽のコンサートにもおすすめ。



6 地域の
文化活動の場に！

スタジオや練習室など、気軽に利用できる場所もあります。施設が空いていれば、申請受付を行って誰でも利用可能。オンラインでの予約も可能です。詳しい申込方法や利用料金は、ホームページをご覧ください。



5 人が集い
語らう場所に
共有空間

広々とした吹き抜けのロビーのほかにも、ウッドデッキつきのバルコニーエリアがあります。作品を鑑賞した後に感想を交換したり、練習室で汗を流した後にひと息ついたり。施設をぐるりと囲う首里織をモチーフにしたルーバー（皮膜）は、強い日差しを遮断しながら、涼しい風を通してくれます。



“なはーらしさ”
たっぷり
の外觀

設計のモチーフには、首里織や花ブロック、ウナー（御庭）、スージグラー（路地）、アマハジ（雨端）など、沖縄・那覇ならではの要素をプラス。外に植えられている木々の多くは、沖縄で昔から織物の染色に使われてきた植物たちというこだわりも。お目当ての舞台上演がない日でも、散歩スポットにいかがでしょうか。

7



※外觀イメージ図です

現代美術家

塩田千春
しお ち はるインスタレーション
「いのちのかたち」が
生まれるまで

沖縄に新しい劇場「なはーと」が開館するという事で展示会の機会をいただき、何か沖縄にちなんだ作品を作りたいと思いました。ある時、首里城が燃えている様子をテレビの映像で見て、とても心が痛みました。海外で見たのですが、もどかしかったです。私はこれまで「記憶」というテーマで作品を作っているのですが、沖縄での展示会では首里城の記憶をつなぎたいと思い、作品の構想が生まれました。

なはーとは建設中に足を運び、作品が展示される予定の場所を自分の目で確かめました。また首里城を訪れ、琉球大学名誉教授の高良倉吉先生から説明を聞き、壺屋焼物博物館へ行って沖縄の焼物について解説も受けました。今回の作品に首里城の破損瓦を使うのですが、これまでの首里城の記憶を蘇らせて、さらにそこに新しい命を吹き込むことができればいいなと思っています。

Profile

大阪府生まれ。ベルリン在住。生と死という人間の根源的な問題に向き合い、「生きることは何か」、「存在とは何か」を探究しつつ、その場所やものに宿る記憶といった不在の中の存在感を糸で紡ぐ大規模なインスタレーションを中心に、立体、写真、映像など多様な手法を用いた作品を制作。



12月から始まる展示会は、3つのインスタレーションで構成します。「首里城の記憶」「人々の願い」「人々が大切にしているもの」をコンセプトにしています。それぞれのコンセプトを、なはーとの空間で作品として表現し、展示会で一つになればと思います。

作品の根底に込めた
「生と死」に向き合うこと

死の問題というのは、生きている人間全員の問題です。身近にありながら、もっともわからないものだと思っています。死の問題を考え、死を目の前にすると、逆に「もっと生きたい」と強く思う、そんな経験を私は何度もしています。答えがわからない問題だからこそ、いつもそれが作品のテーマになって、私は作り続けられるんだと思っています。

コロナウィルスのせいで経済活動は止まってしまったかもしれませんが、人間の想像力が止まることはありません。私はその大切さを改めて感じながら、こういう時代だからこそできる作品を作りたい、こんな時期だからこそできる作品があるはずだと信じて、創作を続けてきました。そして想像することを決してやめませんでした。だから

どんな状況でも人間の想像力が止まることはない

TOPIC

KYOGEN

唐人相撲

～なはーと編～

狂言と琉球芸能から生まれる
エンターテインメント

三番叟・唐人相撲～なはーと編～

2021年12月12日(日)昼公演13:00開演/夜公演17:00開演
「唐人相撲～なはーと編～」 構成:野村萬斎・嘉数道彦
出演:野村万作、野村裕基、瀬名波孝子 ほか

五穀豊穡などを祈願するおめでたい曲として舞う『三番叟(さんばそう)』に続き第二部で上演される『唐人相撲』は、現在の狂言の中で、最も多くの演者を要する賑やかな作品。唐に滞在していた相撲取りが皇帝に帰国を願い出ると、名残にもう一度相撲を見せてほしいと望まれる。臣下たちが次々と敗れるのを見た皇帝は、ついに自ら相撲取りに勝負を挑むが……。鮮やかな装束やアクロバティックな相撲の技、また架空の中国語の会話などユーモアにあふれる狂言だ。

今回は、新しい試みとして既存の『唐人相撲』に琉球芸能のエッセンスを取り入れ、狂言師・野村萬斎と琉球芸能美演家・嘉数道彦による沖縄ならではの『唐人相撲～なはーと編～』が、こけら落としシリーズの主催公演として上演される。

構成を務める野村萬斎さんは「琉球芸能の方々と一緒にやれるのは画期的で、那覇のアイデンティティ、多様性が発揮されると思う」と話し、嘉数道彦さんは「琉球芸能は本土の芸能の影響を受けてきた。似通った点や独自な点が織り混ざって、琉球芸能や日本の伝統芸能の可能性を探っていけるような意義のある舞台にしたい」と意気込みを語る。

12月12日(日)に上演されるなはーと編では、随所に琉球芸能の要素が演出に取り入れられる。また、琉球芸能美演家だけでなく、オーディションで選ばれた那覇市民も出演する。

COLUMN

沖縄的アートな目線

人と人がつながり
芸能が息づく那覇市へ

演出家として、海外で公演を行うことが度々あった。温かく迎えられ、「プロ」として手厚くもてなしを受けた。エンターテインメントを職業とする人たちが社会から大切にされていると強く感じた。

コロナ禍の日本で、もっとも厳しい状況に置かれたのがエンターテインメント業界だ。舞台の上演がなくなり、演者は稽古ができず、スタッフは仕事がなくなった。それは地域芸能という小さな世界も影響を受け、住民が集まって練習ができない、食べていけないとい

う理由で門下生たちが芸能から離れて継承者がいなくなった、などの話をよく耳にした。
なはーとは、地域に開かれた劇場になるそうだ。舞台を楽しむだけでなく、誰もが気軽に利用することもできるという。芸能は人と人をつなぎ、心に潤いを与えてくれる。アフターコロナにおいてはそういった価値がしっかりと評価され、アーティストたちが大切にされる社会を望む。なはーとはそれらも含め発信していってほしい。

語り手

野底 武光

旧那覇市民会館の担当者として、多くの公演の企画・運営を手がけた。また演出家として、数々の舞台を企画。12月には代表作『TSUNAGU.V』が、なはーとで上演される予定。



なは一とで、育む



①うむいのプロジェクト「遊びが本になる！風景を集めるワークショップ」 ②うむいのプロジェクト「記憶の散歩道 8mm映画と音楽でたどる、那覇市のあゆみ」 ③「ロミジュリ！那覇の街を走り出す」（識名園）

アートを通して 異なる価値観を 受け入れられる 社会に

地域のアーティストや市民団体と協力して、劇場の外へ出ていく“アウトリーチ活動”を展開していきます。誰もがアートにつながる社会を目指し、さまざまな理由で来館が難しい人たちにも、なは一とから作品を届けることで、人と人とのつながりや交流の場を生み出します。

また、地域の教育機関や文化芸術団体と連携し、次世代の人材育成や教育普及活動も実施。舞台芸術に携わる専門人材の育成のほか、子どもたちにはアートを通して多様な価値観にふれる場を提供します。

なは一とを、使う

合唱や演劇 余興の練習にも 使える スタジオや練習室

なは一とは、県内外の優れた文化芸術作品を鑑賞できるだけでなく、市民が自ら文化芸術活動を行い、発表できる環境が整っています。大劇場の主舞台のサイズとほぼ同じ面積の「大スタジオ」では、小規模な催物なら可能な照明・音響設備を備えており、また、ロビーと直結することによりさまざまな使い方ができる小スタジオのほか、ダンスや音楽のリハーサルなどにも使える4つの練習室も完備、誰もが気軽に利用できます。



①大スタジオ ②小スタジオ ③～⑥練習室

なは一とが、つくる



①「ロミジュリ！那覇の街を走り出す」（那覇市議会議場）②③「唐人相撲～なは一と編～」稲古風景（大スタジオ）

アーティストと 新しい作品づくり 演劇や音楽 アートプロジェクトも

なは一とが目指すのは、県内外のアーティストと協働し、新しい作品（演劇やコンサート、アートプロジェクトなど）を創造していく劇場です。アーティストが地域の中で創作活動を行うことで、那覇の魅力や課題を発見したり、地域の文化を発信したりすることにつながると考えます。

創作活動では、市民参加型のワークショップを行って、市民と対話をしながらつくることも。なは一とで生まれた作品を鑑賞することは、アートを通して自分のいる社会やまちを見つめることにつながります。

子どもから 大人まで ワクワクドキドキの プログラム

なは一とでは、子どもから大人まで多くの市民が参加できる参加型プログラムを実施します。例えば、集まった人たちでアート作品をつくったり、舞台作品の鑑賞方法を事前に学べるワークショップを行ったり。また、小さな子どもたちでも楽しめる共用ロビーを活用したミニコンサートの開催なども予定しています。

参加型のプログラムを通して、つくる喜びや演じる楽しみを感じてもらうとともに、市民とアーティストの交流の場として、多様な人々による地域のネットワークを構築していくことを目指します。

なは一とで、体験



①うむいのプロジェクト「落ち葉のプールで遊ぼう！」②うむいのプロジェクト「あの木を探して！まち中体験」③うむいのプロジェクト「樹木が喜ぶ剪定講座」

NAH Art SCHEDULE

2021 12月 ~ 2022 3月



最新の情報はホームページへ

公演ピックアップ

地域文化芸能公演「TSUNAGU.V」

場：大劇場
日：12月4日（土）
時：14:00 開演
料：無料
問：098-835-8181（丸正印刷）

塩田千春インスタレーション

「いのちのかたち」
場：共用ロビー、他
日：12月4日（土）～2月20日（日）
時：9:00～21:30
料：無料（一部有料 300円）
問：098-861-7810（なはーと）

狂言「三番叟・唐人相撲～なはーと編～」

場：大劇場
日：12月12日（日）
時：＜昼＞13:00 開演 ＜夜＞17:00 開演
料：S席一般 5,000円 U24 2,500円
A席一般 4,000円 U24 2,000円
障がい者割引あり
当日券は各 500円増し
問：098-861-7810（なはーと）

2021 国際児童・青少年演劇

フェスティバルおきなわ

「りっかりっか＊フェスタ」

場：全館
日：1月4日（火）～12日（水）
時：HP 参照
料：HP 参照
問：098-887-1333（エーシーオー沖縄）



「見る聞く感じる琉球芸能の世界」

場：大劇場
日：1月30日（日）
時：14:00 開演
料：一般 2,500円、学生 1,000円
子ども（小学生まで）800円、
親子（一般＋子ども、一般＋学生）
3,000円
問：090-4772-7889
（沖芸大琉球芸能専攻 OB 会・金城）

マームとジプシー新作演劇公演

「Light house」

場：小劇場
日：2月4日（金）～6日（日）
時：HP 参照
料：HP 参照
問：098-861-7810（なはーと）

バレエ・アーティスト緑間玲貴 沖縄公演

「トコイリヤ RYOKI to AI vol.8」

場：大劇場
日：2月20日（日）
時：未定
料：未定
問：098-866-3313
（一般社団法人トコイリヤ・ソサエティー）

御座楽演奏会

「よみがえる御城（うぐしく）」の調べ

場：小劇場
日：2月27日（日）
時：未定
料：未定
問：080-1716-5047
（御座楽復元演奏研究会事務局・比嘉）

ロームシアター京都共同制作

「宮古・八重山・琉球の芸能」

場：大劇場
日：3月13日（日）
時：HP 参照
料：HP 参照
問：098-861-7810（なはーと）

子どものためのバレエコンサート Vol.12

「Under the sea」

場：小劇場
日：3月12日（土）～13日（日）
時：未定
料：未定
問：098-943-5837（Company Dream Art）

琉球交響楽団

第42回定期演奏会

場：大劇場
日：3月21日（祝日）
時：16:00 開演
料：一般 4,000円
学生 1,500円（大学生以下）
当日は各 500円増
問：090-9783-7645（琉球交響楽団事務局）

ロビーライブ事業

音楽・講演会・ダンス・パフォーマンス

場：共用ロビー、他
日：毎月2～3回程度
時：HP 参照
料：無料
問：098-861-7810（なはーと）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、やむを得ず公演を中止にさせていただく場合があります。



那覇文化芸術劇場なはーと

〒900-0015 沖縄県那覇市久茂地3-26-27
TEL: 098-861-7810

※新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う国・県からの要請に基づき、閉館時間が変更または臨時休館となることがあります。

〔アクセス〕

バス停

- ① 若松入口 徒歩約6分
- ② 久茂地公民館前 徒歩約2分
- ③ 沖銀本店前 徒歩約6分
- ④ 松尾一丁目 徒歩約6分
- ⑤ 松尾 徒歩約6分

ゆいレール

- ⑥ 県庁前駅 徒歩約6分
- ⑦ 美栄橋駅 徒歩約6分

※駐車場は関係者専用となりますので公共交通機関をご利用ください

INFORMATION

那覇文化芸術劇場 なはーとでは、劇場をご利用になるすべての方の安全と安心のため、新型コロナウイルス感染症拡大防止に関する取り組みをおこなっています。ご来館される皆さまは、当劇場ウェブサイトの【なはーとにおける新型コロナウイルス感染症対策とご来館される皆さまへのお願い】や館内掲示されている注意事項などを、ご確認ください。